海の情報 浜へのたより
（ご意見・ご要望をお寄せ下さい。）
越前がに
（県のさかな）

第　１　５　３　号
平成 16 年 4 月 27 日
福井県水産試験場
TEL　0770(26)1331
FAX　0770(26)1379
http://www.fklab.fukui.fukui.jp/ss/

∞∞∞∞∞∞ 新　任　の　ご　挨　拶 ∞∞∞∞∞∞

福井県水産試験場長　若　林　健　一

このたび、４月１日付けの県の人事異動により水産試験場長を拝命しました。

水産試験場勤務は、二度目で２５年振りになります。最初は、採用時から５年間でした。当時は、温排水の生物影響調査のうち、魚類相調査、卵稚仔調査を主に担当していました。

その後、水産課に異動になり、組合検査・指導の仕事を５年、漁業調整の仕事を１０年余り致しました。次に、あゆ種苗センター、内水面総合センター、水産課、栽培漁業センター、再び内水面総合センターと異動し、今回、出発点の水産試験場に戻りました。いま、考えてみますと、私の職歴の中で一番長く印象の強かった仕事は、水産課での漁業調整で、玄達瀬の遊漁のルール作り、三度経験した漁業権免許、内水面では石徹白の漁業権問題の解決など沢山あります。

今回、二度目の水産試験場に赴任し、古くなった建物と昔と余り変らない浦底湾の景色に懐かしいと感じる一方で、漁業者の方々の意見を聞きながら、福井県の水産業振興に役立つ試験研究の舵取りをしなければならない場長としての責任の重さを実感致します。

ところで、水産業に関わる者として、最近の「食」に対する国民の関心が強くなっていることは喜ばしいことですが、その反面、不信感も増大しており、このことには大変憂慮されます。例を挙げますと、食品の消費期限の改ざん、遺伝子組換え作物、牛海綿状脳症、鳥インフルエンザなど、水産では、他県で報道された養殖トラフグのホルマリン使用、人には害のないコイヘルペス等、食に関する記事がない日は少ないといっても過言ではありません。これらについては報道されたとたん消費は極端に落ち込み、回復するためにはかなり長い期間を必要とします。また、いったん失った信用は容易には回復せず、このため、幾多の関係業者が規模の縮小、あるいは倒産、廃業を余儀なくされたことでしょうか。

このことは、食料の生産者あるいは流通業者として消費者の方に目が向いていなかったことが一番の原因であり、関係者は謙虚に反省していかなければならないと思います。

水産試験場に勤務する我々も、食料に関連する仕事をしているのだという認識のもと、今の試験研究機関に与えられた多くの課題の解決に最大の努力をしていきたいと考えています。農業や水産業などの食料生産にかかる産業は、国にとって一番大事な基本的な産業です。漁業者の皆さんは、国の礎を担っているという誇りを持って安全な魚介類を提供し，福井県の水産業の健全な発展のためにご尽力をお願いします。

私達、県の研究機関の職員も、食料生産に携わる誇り高き漁業者の方々を、試験研究の面でサポートしていきたいと考えていますので、今後ともなにとぞよろしくご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

〔 海の状況（３／２１～４／２０）〕

神子表面水温……期間全体を通してやや高め（平年より1℃程度高め）からはなはだ高め（平年より1.5～2℃程度高め）で推移した（図１）。

米ノ表面水温……期間全体を通して、平年並み（平年より±0.5℃）からはなはだ高めで推移した（図２）。

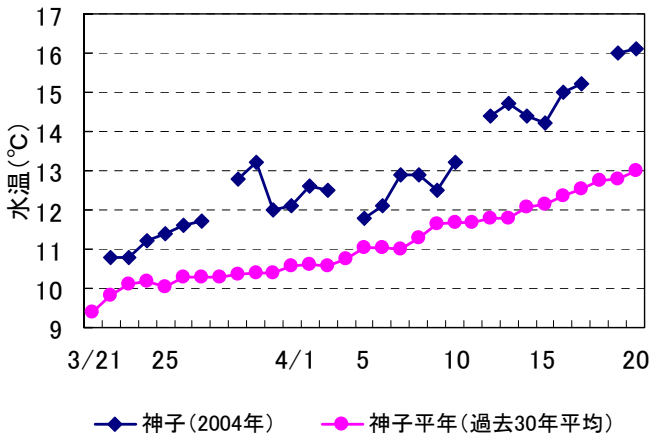

図１　三方町神子地先における表面水温の推移

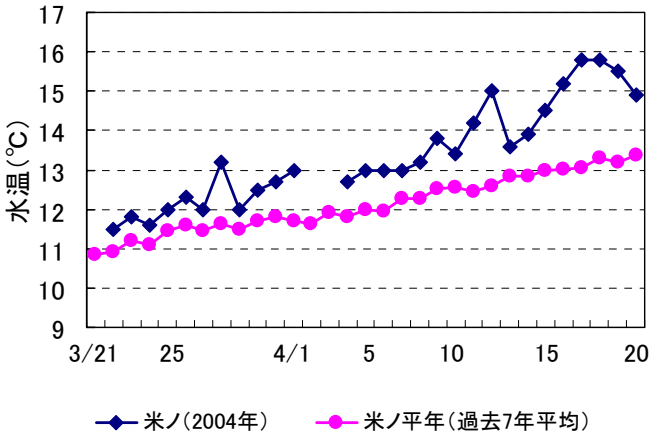

図２　越前町米ノ地先における表面水温の推移

100m深水温……沿岸域には12℃台の水域が広がっていた。

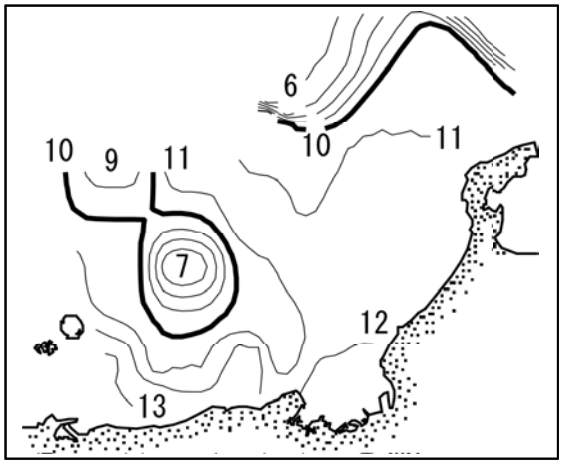

図3　2004年4月上旬の100m深水温

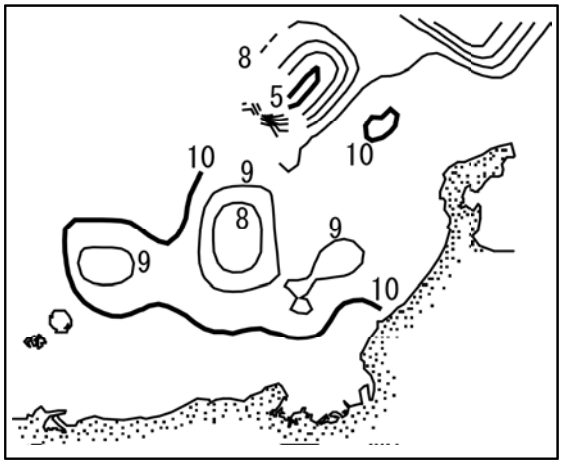

図4　2003年4月上旬の100m深水温

〔 漁の模様 〕

2004年3月の県内の総水揚量は849tで、2003年同月を497t下回った。ブリ類[ハマチ・ツバス主体]（2004年;37t，2003年;3t）等は上回ったものの、カタクチイワシ（2t，41t）、サワラ(8t，29t)、その他カレイ(51t，81t)、ハタハタ(156t，374t)、スルメイカ(1t，77t)、ホタルイカ(110t，227t)、その他エビ[アミエビ主体]（6t，41t）等は下回った。

漁業種類別の状況

定 置 網 ……ブリ類[ツバス主体]等は上回ったものの、カタクチイワシ、サワラ等が下回り、全体で44t下回った。

底びき網 ……ハタハタは平年を上回る水揚げがあったものの、豊漁であった昨年を大きく下回ったほか、ホタルイカ等も下回り、全体で340t下回った。

釣り・他 ……ブリ類（ツバス主体）、メバル類等は上回ったものの、スルメイカ（船凍イカ主体）、ヤリイカ、その他エビ[アミエビ主体]等が下回り、全体で113t下回った。

〔県内主要漁業の3月の漁獲量〕

（調査対象市場：三国・越廼・敦賀・早瀬・小浜の各漁連支所、福井市・越前町・若狭高浜の各漁協）

（単位:kg）

定　置　網			
魚　種	2004年	2003年	94-03平均
マイワシ	1	978	25,492
カタクチイワシ	1,648	40,603	12,861
アジ類	48,325	42,205	26,022
サバ類	240	5,939	3,079
ブリ類	18,887	545	2,518
サワラ	7,317	29,019	945
サケ，マス	1,462	2,699	1,432
スズキ	4,377	8,170	3,963
フグ類	1,109	1,853	1,853
スルメイカ	826	2,854	8,725
ヤリイカ	4,887	5,866	2,744
コウイカ	793	1,183	1,681
その他	15,233	7,374	8,059
合　計	105,106	149,289	99,376

底　び　き　網			
魚　種	2004年	2003年	94-03平均
キダイ	4,645	101	1,720
スズキ	2,366	1,043	1,778
ヒラメ	1,677	1,364	2,099
アカガレイ	101,861	96,695	94,671
その他カレイ	32,615	65,601	37,069
アナゴ	1,656	3,005	4,352
ハタハタ	156,477	373,914	24,026
ニギス	694	1,400	3,181
ケンサキイカ	1,317	1,300	2,605
ヤリイカ	733	1,382	1,918
ホタルイカ	110,039	227,533	160,844
タコ類	7,085	6,239	8,114
ズワイガニ	22,700	24,114	14,922

底　び　き　網 のつづき			
魚　種	2004年	2003年	94-03平均
水ガニ	49104.06	49233.88	44090.593
アカエビ	26826.67	19649.17	20276.145
その他エビ	5911.47	5256.21	7253.619
その他	43,695	31,423	54,602
合　計	569,404	909,253	483,524

釣り，　延縄，　さし網，　その他			
魚　種	2004年	2003年	94-03平均
アジ類	464	3,953	3,221
サバ類	31	1,349	711
ブリ類	17,827	2,331	13,912
マダイ	2,291	5,673	3,770
キダイ	841	119	274
アマダイ	2,614	1,496	2,035
スズキ	1,606	3,131	1,684
ヒラメ	7,188	6,319	5,929
その他カレイ	17,631	15,532	10,528
アナゴ	4,241	2,053	6,320
メバル類	13,795	8,954	10,824
スルメイカ	85	74,149	6,193
ヤリイカ	25,382	48,661	5,112
コウイカ	3,112	5,841	4,602
タコ類	14,776	11,011	18,289
その他エビ	63	34,002	282
その他	62,426	63,115	56,241
合　計	174,374	287,688	149,926

総　計	2004年	2003年	94-03平均
	848,883	1,346,230	805,587

〔近府県の漁模様〕

（3月下旬から4月中旬の漁獲状況……1日1隻または1統あたり。京都府の定置網漁獲量は舞鶴漁連への1日あたりの水揚量。）

石川県 …… 定置網 …… カタクチイワシ610kg、アジ160kg、スルメイカ84kg、サワラ68kg
　　底びき網 …… ハタハタ218kg、アカガレイ60kg、ニギス56kg、アマエビ28kg
京都府 …… 定置網 …… カタクチイワシ16.7t、マアジ7.8t、サワラ0.4ｔ、スルメイカ0.2ｔ
兵庫県 …… 定置網 …… アジ77kg、ツバス46kg、サワラ11kg、ヒラマサ6kg
鳥取県 …… まき網 …… マアジ27.2t、カタクチ11.8t、ウルメ0.4t

（松宮　由太佳）

水産試験場職員の異動について（2004年4月１日付け）

〔退職〕場長（農林水産部技幹兼務）　銅　重信

転　出　者		〔 新所属 〕	転　入　者		〔 旧所属 〕
管理室長	糸野　修一	〔出納事務局〕	場　長 （浅海資源部長兼務）	若林　健一	〔内水面センター〕
管理室	小倉　秀樹	〔嶺南振興局小浜土木〕			
海洋資源部	安達　辰典	〔水産課〕	管理室長	吉田　覚	〔児童家庭課〕
浅海資源部長	鈴木　康仁	〔栽培漁業センター〕	管理室	西村　晴海	〔環境監視センター〕
浅海資源部	鈴木　聖子	〔水産課〕	海洋資源部	杉本　剛士	〔水産課〕
〃	池田　茂則	〔県立大学・小浜〕	浅海資源部	根本　茂	〔栽培漁業センター〕

温排水の拡散調査結果について

昨年 10 月～12 月の期間に実施した原子力発電所から排出される温排水の拡散状況調査の結果は次のとおりでした。なお、本調査結果は平成 16 年 3 月 30 日に開催された福井県原子力環境安全管理協議会で報告しました。

1　大飯町：大飯海域（2003 年 10 月 20 日　9:03～13:59）
23.0℃以上の陰影域が温排水と判断され、放水口から北の方向へ拡散していた。
表層の最大到達距離は放水口から約 5.9 ㎞、表層拡散面積は約 11.4 ㎢であった。
（図１，２）

2　高浜町：内浦海域（2003 年 10 月 21 日　8:34～11:13）
22.5℃以上の陰影域が温排水と判断され、放水口から北北西に、内浦湾口から北東へ舌状に拡散していた。
表層の最大到達距離は放水口から約 9.0 ㎞、表層拡散面積は約 11.2 ㎢であった。
（図３，４）

3　敦賀市：立石海域（2003 年 11 月 6 日　9:25～12:12）
21.5℃以上の陰影域が温排水と判断され、放水口から北西の方向に拡散していた。
表層の最大到達距離は放水口から約 2.6 ㎞、表層拡散面積は約 4.2 ㎢であった。
（図５，６）

（安田　政一）

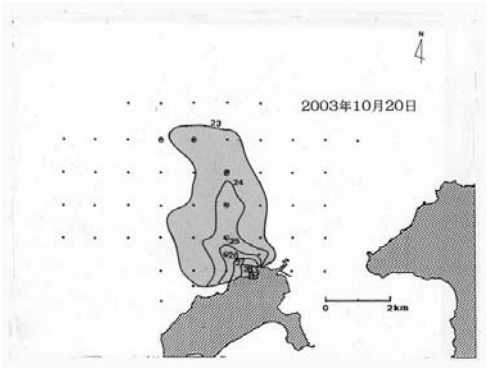

図１　大飯海域における水温水平分布（表層）

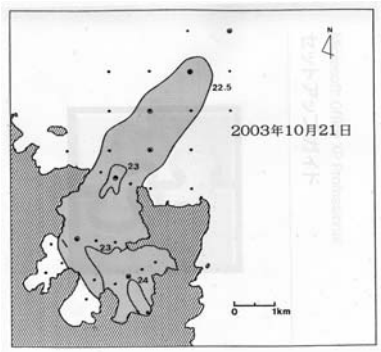

図３　内浦海域における水温水平分布（表層）

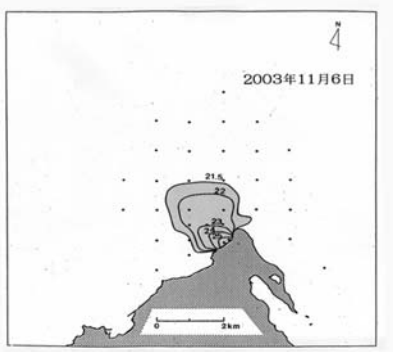

図５　立石海域における水温水平分布（表層）

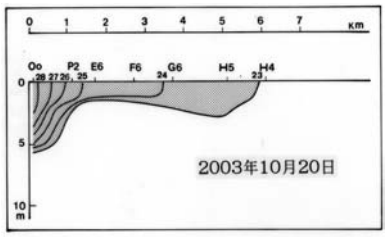

図２　大飯海域における水温断面

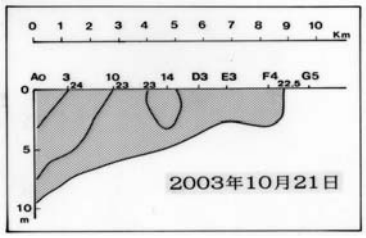

図４　内浦海域における水温断面

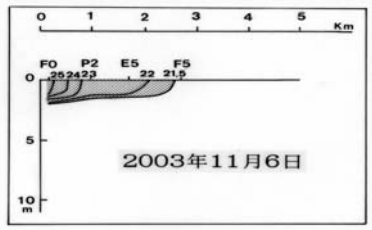

図６　立石海域における水温断面

2004 年５月の福井丸&若潮丸運航計画

福　井　丸　日　程		若　潮　丸　日　程	
5/11～13	広域底魚調査（若狭湾）	5/11・12	温排水拡散調査(大飯・高浜)
5/17～19	広域底魚調査（若狭湾）	5/13～14	定置網成調査
5/24～25	潮流計等設置（若狭湾）	5/16～17	瀬付き漁獲調査（松出シ瀬）
5/27～28	海洋観測・卵稚仔調査（日本海）	5/18～19	漁場保全調査（三国・敦賀）
		5/26～27	魚礁調査